

NEW 消雪パイプブロック

NETIS 登録番号 HR-080003-A

施工性向上 + メンテナンス対応



中間部分の取替え可能

工期の短縮

従来型より施工が極めて簡単のため、スピード力がアップします

確実性アップ

据付は簡便な線形とレベル調整だけ（縁石やU字溝の設置工事と同レベル）

安全性向上

ブロック自体を移動する労力が極めて少ないため人身事故の発生を防ぎます

メンテナンスコストの縮減に威力を発揮

不具合の生じたブロック単体での取替えが可能のため、メンテナンスコストに格段の差が出ます

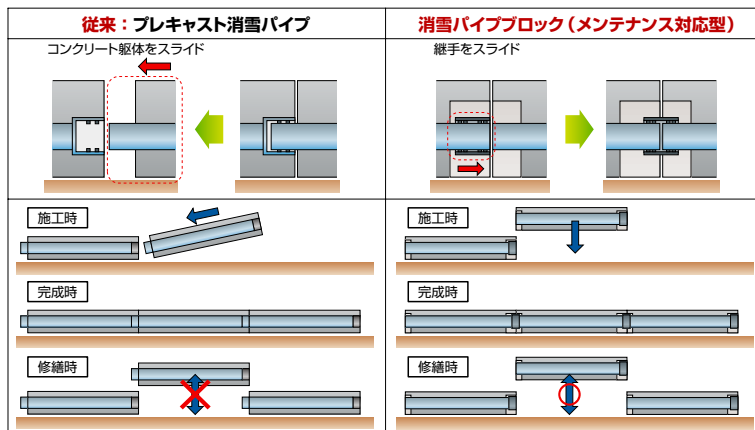
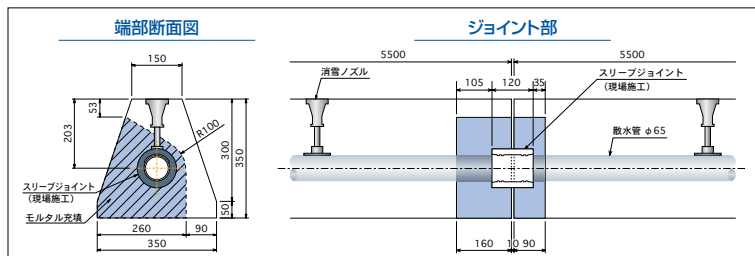


NEW消雪パイプブロックの利点

従来のプレキャスト消雪パイプは、躯体の上流部と下流部の凸部と凹部をそれぞれ接続する形態でした。重量物の据付工事のため、施工性と安全性に大きな問題がありました。

NEW消雪パイプブロックは、車両の荷降ろし作業からの一連作業で据付可能。その後、躯体に付属の継ぎ手で接続するだけ。従来型と比べスピード、安全性、が格段に向上。

また、不具合の生じた1ブロックの取替えも大変に容易になりメンテナンスコストの縮減に大きく貢献いたします。

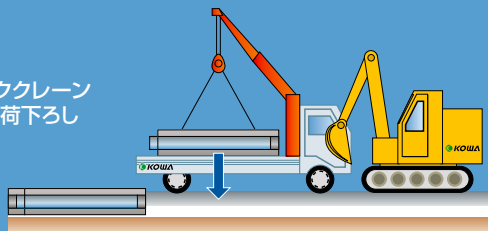


従来型との比較

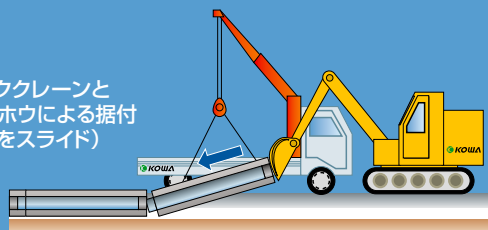
従来：プレキャスト消雪パイプの据付

消雪パイプブロック（メンテナンス対応型）の据付

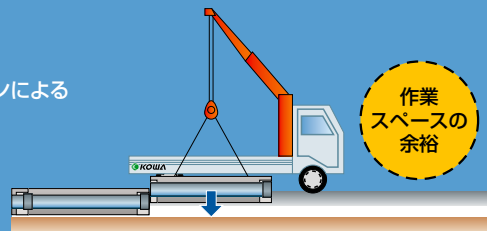
①
トラッククレーン
による荷下ろし



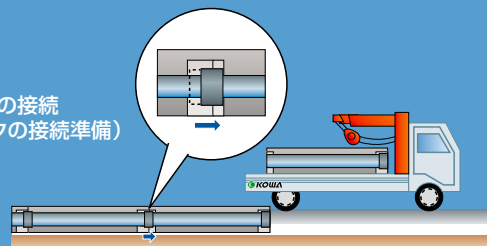
②
トラッククレーンと
バックホウによる据付
(躯体をスライド)



①
トラッククレーンによる
荷下ろし+据付



②
スライド式継手の接続
(+次のブロックの接続準備)



工期
短縮

コストの
縮減

安全性
向上

重機作業の 軽減

従来は、クレーン付きトラック等でブロック躯体を持ち上げ、後部端面をバックホウ等で押してスライドさせることにより据付を行っていました。新型ブロックでは、継手の接続を別途行うため垂直設置が可能となり、重機作業が軽減される等、いくつものメリットがあります。

施工 事例

国道17号の消雪設備工事（補修工事）にて試験施工を行いました。



【十分な強度性能】

接続部強度試験



接続部に継手を格納する空間を設けていますが、十分な強度を有することが確認されています。

“散水消雪施設設計施工マニュアル”

では、消雪パイプ設計軸荷重70kNが求められていますが、この空間へのモルタル充填が無い場合でもヒビ割れ荷重が210kNあることを確認しています。

実際には間詰モルタルを充填するのでさらに強度が増すので問題ありません。

供試体切欠部処理	ひび割れ重載荷時 ※1	
	荷重 (kN)	屈曲角 (°)
未処理	210	1.39
モルタル充填	330	1.29

※1) 目視確認による微細クラック発生時をひび割れ時とする。

【簡単施工、漏水の心配無用】

スリーブジョイント

(消雪パイプ用スライド式ワンタッチ接続継手)



ブロック管端同士の接続には、スライドさせるだけで、ワンタッチ接続が可能な“スリーブジョイント”を用います。曲げ角度7°時において、0.5MPaの水圧試験を行い、消雪パイプ用継手として十分な機能を有することを確認しています。



圧力 0.5MPa / 偏角7° (側面)



株式会社 興和

本社
〒950-8565
新潟市中央区新光町6番地1

代表：TEL (025) 281-8811 FAX (025) 281-8833
水工部：TEL (025) 281-8816 FAX (025) 281-8835
URL <http://www.kowa-net.co.jp>

東北支店 (022) 743-1680
北陸支店 (076) 291-6231
新潟支店 (025) 281-8812
中越支店 (0258) 47-1331
上越支店 (025) 544-5566

佐渡支店 (0259) 57-2885
青森営業所 (017) 721-2298
富山営業所 (0766) 61-3748
長野営業所 (026) 263-3850
魚沼営業所 (025) 792-4688

東京事務所 (03) 3238-7440
阿賀野営業所 (0250) 62-6380
十日町営業所 (0257) 52-4329